

## 大石慎三郎先生を送る

学習院大学経済学部長 杉田善弘

故大石慎三郎教授は昭和38年に当時の本学政経学部へ赴任され、その後31年間の長きにわたり本学の教育、研究に携われた。昭和58年からは2期、4年にわたって経済学部長・経済学研究科長の要職を勤められた。また、昭和50年に学習院大学史料館が開設されると、10年間の長きにわたって館長の職にあたられた。

大石先生の研究対象は主に江戸中期であり、この時代の農業政策、貨幣政策、市場構造、商品流通などを多面的に分析され、幕藩体制の解体と動揺の過程を明らかにされた。また、これまで通説として理解されていた諸改革や治世について、ひとつひとつ検討され、江戸時代の全体像把握に新たな視点を提起された。

先生は、数多くの著作、論文を執筆のかたわら、地方史編纂にも従事され、さらにはNHK大河ドラマの時代考証なども勤められた。その活躍はきわめて幅の広いものであった。先生の学術研究、教育の業績については社会的にも高く評価され、安倍賞（学術賞）、愛媛県教育文化賞などを受賞された。

本号は、故大石慎三郎教授の本学のみならず、広く学界、社会に貢献された遺徳をしのび、ここに特別号として刊行するものであります。